



大阪ええまちプロジェクト 大交流会 令和2年2月27日第4分科会発表

城東区森之宮地域：みんなの居場所

団地の寺子屋

代表世話人松井宏悦

# 目次

- 今までの経過
- 「もりもり教室」プロジェクトの構成
- 人としてのコミュニケーション力を育てる
- 各コースの構成
- 国際理解コースの内容
- 多世代理解コースの内容
- まとめ



# 活動場所



# 設立のきっかけ

- 地域課題解決のために
- 立場を超えて実行委員会形式
- 参加は動員でなく自由意思
- お世話は役員でなく世話人
- 費用は会費でなく寄付金



地域包括支援センター  
「認知症予防教室」  
生涯学習ルーム 「傾聴教室」



地縁型

テーマ型



「団地の寺子屋」の設立

# 志（こころざし）の同じメンバーの集い（2014,9）



それぞれ違う分野で活躍してきた人たちが「住み慣れた地で最期まで」という大きな目標で一致団結  
**「幼老共生ケアと地域大家族」**

# 参加者数

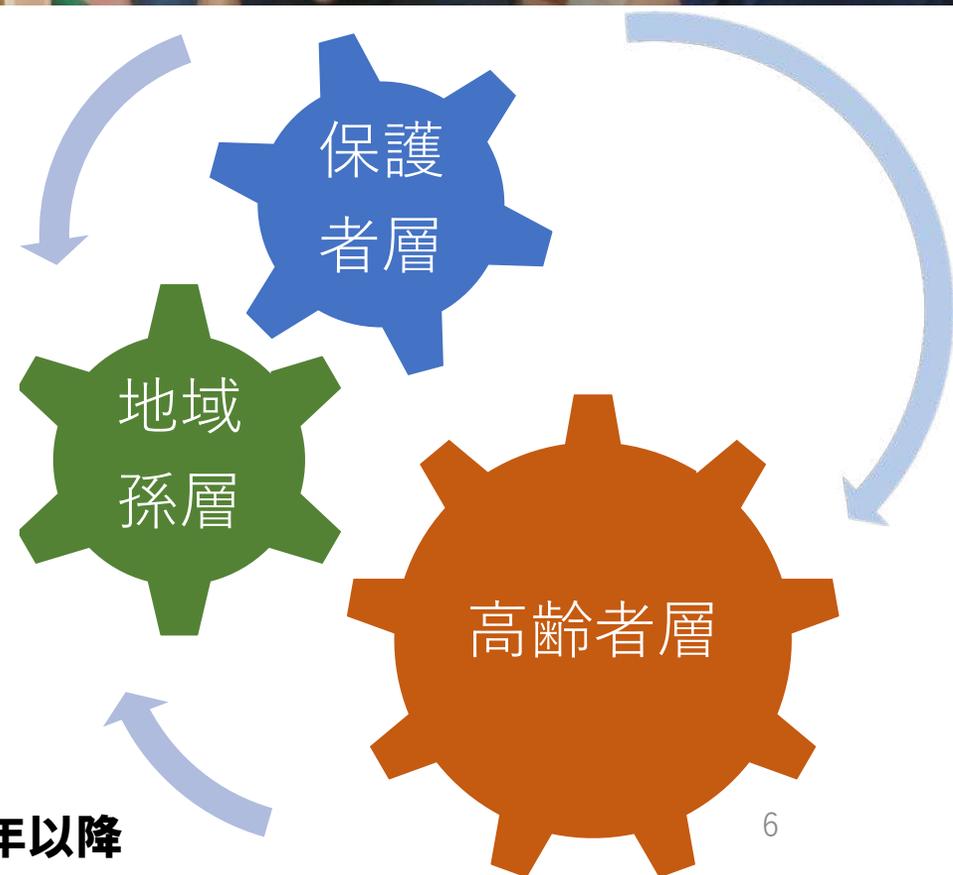
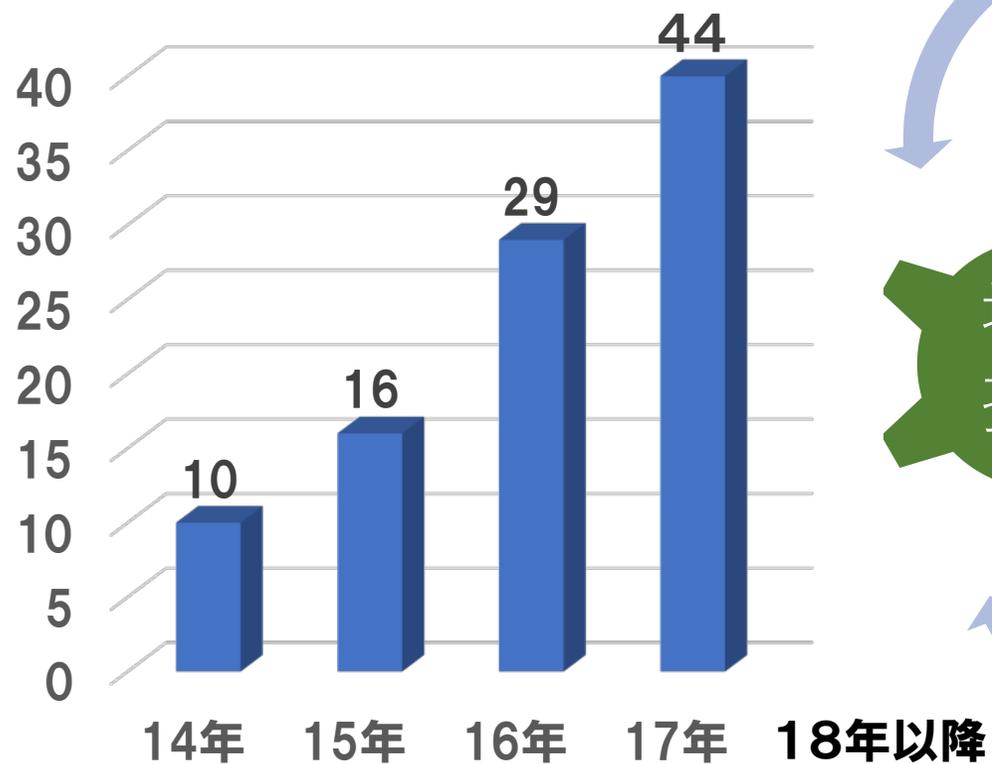


年度毎例会参加者数

- 2014年：平均10人
- 2015年：平均16人  
定例会46回延べ730名
- 2016年：平均29人  
例会53回延べ1,528名
- 2017年：平均44人  
例会52回延べ2,309名
- 2018年以降：40人程で高止まり

(週2日開催)

参加者数



# 本体活動の様子



# 倶楽部活動の様子



# 「だんだん食堂」の様子



# 「子育てサロン」の様子



# 「団地の寺子屋」の活動と資金源

- 本体活動(開設2014)+倶楽部活動：基本は世話人寄付金(1口1,000円)と寄付金(1口5,000円)
  - 城東区生涯学習ルーム資金(2014～)：「傾聴講座」開催（資金を講師費用に充てる）
  - 大阪府福祉局資金(2015～2019)：備品購入と「お互いさまと明日は我が身講座」開催
  - 城東区善意銀行資金(2015～)：「保育園との交流会」開催
- 子育てサロン活動(開設2017)：基本は本体活動資金で充当
  - 大阪市社会福祉協議会資金(2017)：備品遊具の購入
  - 城東区生涯学習ルーム資金(~2017)：「子育て・孫育て講座」開催
  - NHK歳末助け合い資金(2018)：パソコン・プリンター購入と講座開催
- だんだん食堂活動：大阪市市民局市民活動推進資金(2019～)
  - 子育て支援としての有償ボランティア制を取り入れる
- もりもり教室活動：大阪府共同募金会資金(2019後期)
  - 子ども向け学習支援活動と子育て世代向け支援活動を取り入れる



# 「もりもり教室」プロジェクトの構成



人としてのコミュニケーション力養成講座

国際交流コース



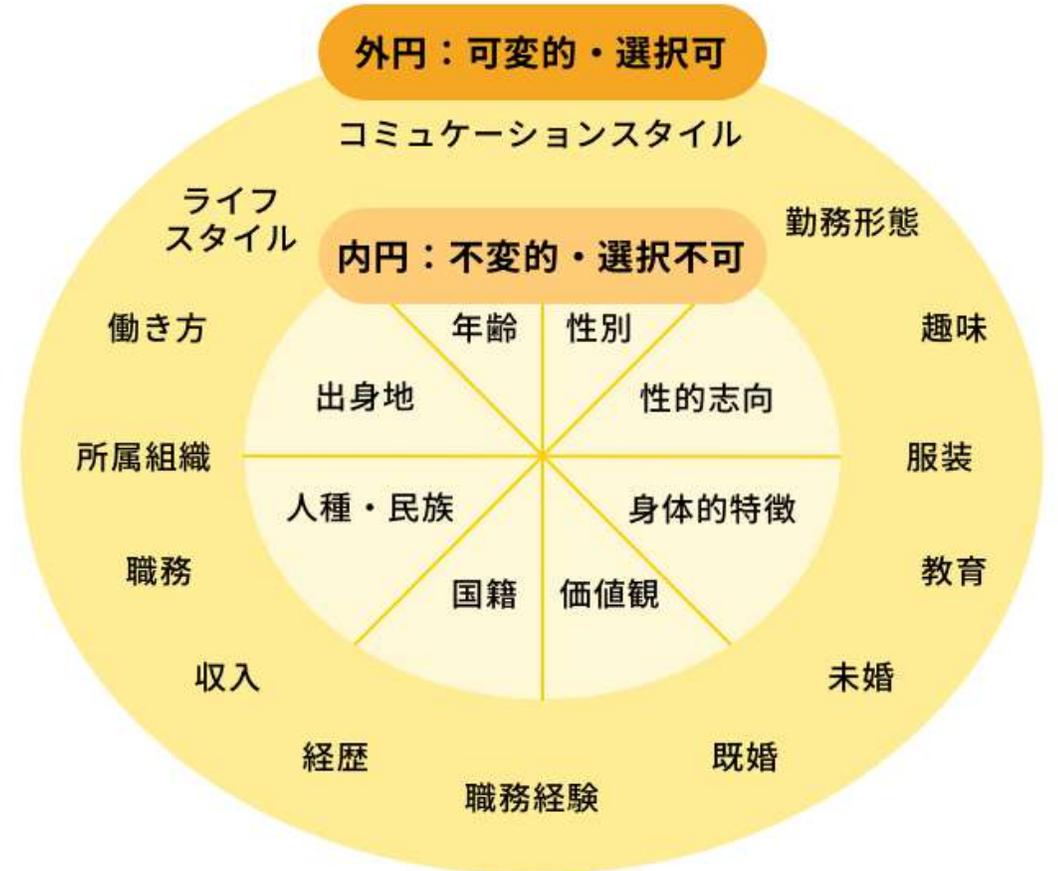
多世代交流コース

# 国際交流コースの内容

- スカイプ利用による英会話教室
- 中国語会話教室などアジアの言語
- 国際理解教室（ダイバーシティ）

## ダイバーシティの種類・分類 →

中村豊『[ダイバーシティ&インクルージョンの基本概念・歴史の変遷および意義](#)』



# 多世代交流コースの内容

- iPadの基礎：キーボード入力になれる
- 傾聴の基礎：地域のおじいちゃん・おばあちゃんのお話を聴く
- 絵日記を一緒に作ろう
- 昔の遊び
- 昔の夏休み
- 昔のお正月
- おじいちゃんの楽しかった話
- おじいちゃんの大変だった話
- お父さん・お母さんにわたしの伝えたい事

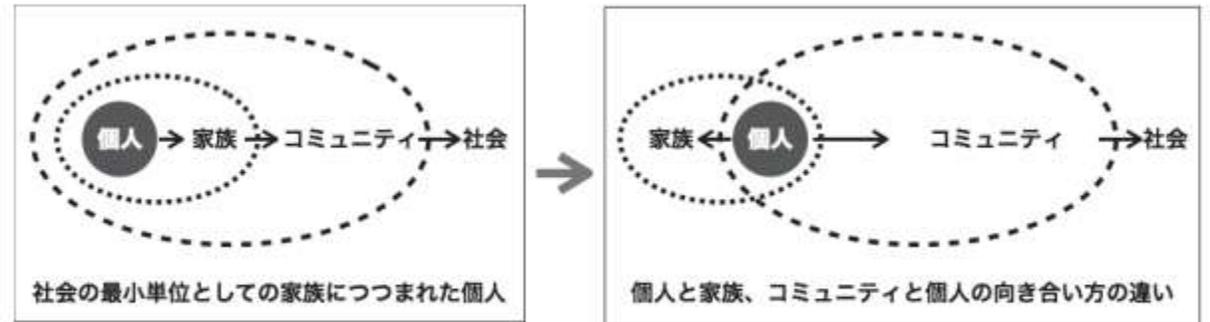


図 1-1 個人と家族とコミュニティの関係の変化

人口減少社会における多世代交流・共生のまちづくりに関する研究会報告書  
平成28年5月：全国市長会・都市センター

[http://www.mayors.or.jp/p\\_action/documents/280523tkouryu\\_houkokusho.pdf](http://www.mayors.or.jp/p_action/documents/280523tkouryu_houkokusho.pdf)  
より



# 「もりもり教室」の様子



# ご清聴ありがとうございました

- 皆さんと一緒に「新しい学びの環境」を作っていきます。
- どうぞアイデアやご助言をよろしくお願いいたします。
- 子どもたちの自信と自己肯定感を高めてあげたいものです。



**「幼老共生ケアと地域大家族」**

